

# 新バージョンV9.6 ご紹介セミナー

2026年5月開催

# 自己紹介

氏名 橋本 宜倫 (hashimoto takanori)  
所属 カスタマーサクセス部 担当課長  
年齢 44歳  
出身 東京都墨田区  
趣味 野球 (キャッチャー)

2004年4月 ネオジャパン入社  
(2021年1月まで営業職)

2021年2月 カスタマーサクセス部へ配属



長男の中学野球・次男の学童野球とAppSuiteに奮闘中!!

# 目次

---

1. モバイルアプリへのプッシュ通知
2. チェックボックスとラジオボタンに「その他」入力欄を追加
3. 他アプリのデータを選択する際、入力部品の値に応じた絞り込みが可能に
  - 上記の注意点や回避策
4. その他改善内容

2026年5月7日に最新バージョン[V9.6]をリリースいたしました。

新バージョンの内容については、製品サイト (<https://www.desknets.com/neo/releases/v96/>) にてご確認いただけますが、本セミナーでは、AppSuiteを中心にご紹介させていただきます。

# モバイルアプリへのプッシュ通知

データが追加・変更されたタイミングで、モバイルアプリへのプッシュ通知を行えるようになりました。

「データの追加・変更時の処理」を追加し、処理タイプ「通知」・通知方法「モバイルアプリへプッシュ通知」を指定することで、通知先に指定されたユーザーがログインしているモバイルアプリにプッシュ通知が行われます。

AppSuite > お問い合わせ記録

追加 キャンセル

会社名(\*) 受付日時 対応状況(\*) No.  
プラスワン株式会社 2026/04/15 15:04 未対応

担当者名 電話番号 メールアドレス  
笠井 様 0554-12-3456

問合せ内容(\*)  
マンション内装工事の見積りを依頼したいとのことで、折り返し連絡をお願いします。

添付ファイル 対応担当者  
選択 選択 山田太郎 ×

データが追加・変更された際に  
任意のユーザーのモバイルアプリへの  
プッシュ通知が可能に

実行内容

処理タイプ(\*)  
通知

通知先  
個別に指定 アプリケーションを参照できる全てのユーザー

ユーザー/組織/ロール選択 部品選択

担当者 ×

本人への通知を行わない  
※ 「本人への通知を行わない」を有効にすると、通知先にデータの追加・変更  
※ 「個別に指定」の場合、指定された通知先のうちアプリケーションへの参照  
※ 「アプリケーションを参照できる全てのユーザー」の場合、アプリケーション  
※ 通知を受け取るには、管理者設定の[AppSuite使用ユーザー設定]で「使用す

通知書式(\*)  
編集

【{{お客様名}}】ご対応をお願いします。  
{{担当者}}様へ

通知方法(\*)  
 メール  
 伝言  
 モバイルアプリへプッシュ通知

## 例えばこんな…



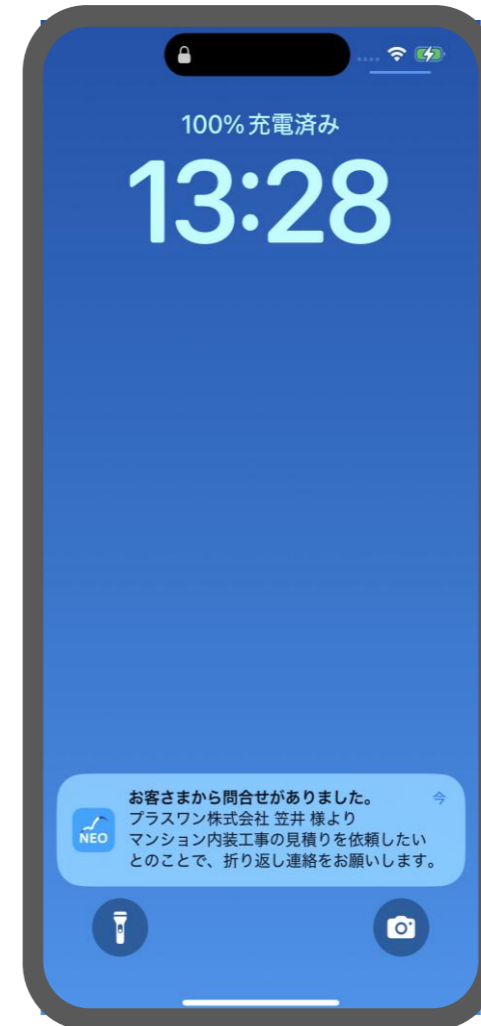
- ① PC1人1台の環境じゃない…  
新着メールが受け取れない…



- ② メール通知を設定したいが、  
モバイル側のEmailや  
キャリアメールを未使用…



- ③ 社内メールを装った  
スパムメールが多いため  
メール通知は避けたい。



# 補足

通知メッセージは、従来通りの通知書式になります。

※「本人への通知を行わない」を有効にすると、通知先にデータの追加・変更を行った本人が含まれている場合でも、本人への通知が行われなくなります。

※「個別に指定」の場合、指定された通知先

※「アプリケーションを参照できる全ての

※通知を受け取るには、管理者設定の[App

通知書式

通知書式

ジョブ名: {{ジョブ名 (文字一行部品)}}

日付: {{日付}}

ジョブ名: {{ジョブ名 (文字一行部品)}}

作業区分: {{作業区分}}

詳細はこちら

\$\$URL\_Detail\$\$

システム値

アプリケーション名

アプリケーションのURL

タイトル

詳細表示URL

部品

データID

登録日時

登録者

更新日時

更新者

日付

ジョブ名 (文字一行部品)

作業区分

キー部品

エラーチェック

区分

分類

区分その他

区分 (新)

URL

チェックボックス

ラジオボタン

ジョブ

通知書式の編集について

通知書式の一行目を件名、二行目を本文として通知します。

置き換え文字

右の置き換え文字一覧から項目をクリックすると対象の置き換え文字が入力欄に挿入されます。

置き換え文字は該当する実際のデータに置き換えて通知します。

※ アクセス権設定に関係なく実際のデータに置き換えられます。 参照させたくないデータがある場合は注意してください。

通知方法 (\*)

メール

伝言

モバイルアプリへプッシュ通知

更新者

橋本 宣倫

更新日

2026年5月7日(木) 11:29

※ (\*)は必須項目です。

※ アプリケーションが“停止中”または“メンテナンス中”の場合は、通知が行われません。

※ 「スケジュールに予定を追加」の場合、予定

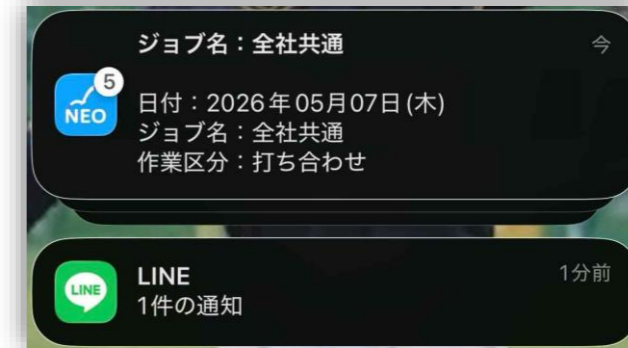
※ データを追加・変更する操作であっても、データの追加・変更時の処理が発生しないことがあります。

▶ データの追加・変更時の処理が発生しない操作一覧

変更 キャンセル 削除

OK キャンセル

## ロック画面



## アプリ使用中の画面



# チェックボックスと ラジオボタンに「その他」入力欄を追加

# チェックボックスとラジオボタンに「その他」入力欄を追加

選択肢にない項目を入力・保存できるようになりました。

必須入力時のエラーチェックにも対応するほか、レイアウトに合わせて入力欄の幅も調整できます。

The screenshot shows the AppSuite application settings interface. The main content area displays a form with the following fields:

- 申請組織: サンプルテキスト
- 申請者: サンプルテキスト
- 申請日時: 2026年4月15日(水) 15:18
- 決裁状況: サンプルテキスト

Below these fields is a section titled "サンプルテキスト" containing a table:

区分	<input type="radio"/> アカウント発行 <input type="radio"/> 敷設・交換 <input type="radio"/> 障害・不具合対応 <input type="radio"/> 要望 <input type="radio"/> (その他)
作業対象	<input type="checkbox"/> 有線LAN <input type="checkbox"/> Wi-Fi <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 社内ポータル <input type="checkbox"/> ファイルサーバー <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> (その他)
作業内容 (具体的に)	

An orange callout box points to the "作業対象" row with the text: "ラジオボタン・チェックボックスに「その他」入力欄を追加可能に".

On the right side, a "部品の設定" (Component Settings) panel is open, showing the following settings:

- 部品名: 対象システム
- タイプ: チェックボックス
- 選択肢:  選択肢にない値の入力を許可する
- 初期値: 有線LAN, Wi-Fi, 電話, 社内ポータル, ファイルサーバー, メール
- 入力制限:  入力を必須にする

# 例えばこんな…

① その他部品を文字一行部品で別に配置→列が異なる→集計しづらい

The image shows two form layouts on a grid background. The top layout, titled '区分', has three radio buttons for 'サンプルの選択肢1', 'サンプルの選択肢2', and 'サンプルの選択肢3'. To the right, there is a separate text input field labeled '区分その他' with the placeholder text 'その他の場合に記入'. A yellow warning triangle is placed to the right of this field. A red arrow points from this field down to the second layout. The second layout, titled '区分 (新)', has the same three radio buttons, but the fourth option is a radio button labeled '(その他)'.

② Microsoft FormsやGoogleフォームと同じような形式を希望

This is a screenshot of the Microsoft Forms 'Add Option' dialog. It shows a list of options: 'オプション 1', 'オプション 2', and '+ オプションを追加'. The '+ オプションを追加' button is circled in red, and the text '"その他" オプションの追加' is visible next to it.

This is a screenshot of the Google Forms 'Add Option' dialog. It shows a list of options: '選択肢 1' and '選択肢を追加 または 「その他」を追加'. The text 'または 「その他」を追加' is highlighted with a red box. At the bottom right, there are icons for copy, delete, and a '必須' (Required) toggle switch.

# 補足：バージョンアップ比較

「その他」入力欄の追加に伴い、**絞り込み条件に「含む」「含まない」の演算子を追加しました。**

～V9.5以前の場合

絞り込み条件

V9.5: チェックボックス

- いずれかを含む
- いずれかを含む
- いずれも含まない
- 選択値あり
- 選択値なし

desknets NEO  
AppSuite  
ChatLuck

(条件を追加)

検索 キャンセル

V9.6以降の場合

絞り込み条件

チェックボックス

- いずれかの選択肢を含む
- いずれかの選択肢を含む
- いずれの選択肢も含まない
- 含む
- 含まない
- 選択値あり
- 選択値なし

desknets NEO  
AppSuite  
ChatLuck

(条件を追加)

検索 キャンセル

絞り込み条件

V9.5: ラジオボタン

- いずれかと一致する
- いずれかと一致する
- いずれとも一致しない
- 選択値あり
- 選択値なし

desknets NEO  
AppSuite  
ChatLuck

(条件を追加)

検索 キャンセル

絞り込み条件

ラジオボタン

- いずれかと一致する
- いずれかと一致する
- いずれとも一致しない
- 含む
- 含まない
- 選択値あり
- 選択値なし

desknets NEO  
AppSuite  
ChatLuck

(条件を追加)

検索 キャンセル

他アプリのデータを選択する際、  
入力部品の値に応じた絞り込みが可能に

# 他アプリのデータを選択する際、入力部品の値に応じた絞り込みが可能に

キー部品の 🔍 アイコンからデータ選択画面を開く際の絞り込み条件として、入力画面の他の部品に入力された値を設定できるようになりました。先に組織や区分などを選択させてからデータ選択をさせることで、**対象のデータを見つけやすくなります。**

The screenshot shows the 'AppSuite > 案件管理' interface. The '顧客基本情報' section has '案件担当部署' (東日本営業部) and '案件担当者' (山田太郎) selected. A magnifying glass icon is highlighted in the '顧客名' field. A callout box explains: 'データの絞り込み条件として組織部品とユーザー部品を紐づけておくことで...' (By linking the organization and user parts as filtering conditions for the data...). A modal window titled '得意先マスタメンテナンス' is open, showing a table of customer data. A search filter '東日本営業部、山田...' is applied to the '部署' column. A second callout box explains: '組織・ユーザー部品に入力された内容を使ってデータを絞り込むことができる' (Data can be filtered using the content entered in the organization and user parts).

会社名	部署	顧客メイン担当者	担当部署	担当者
株式会社中井鉄工所	営業部	新聞 武	東日本営業部	山田太郎
株式会社湾岸商事	営業部	幸福 正人	東日本営業部	山田太郎
朝霞ハウス工業株式会社	管理部	綾部 貴文	東日本営業部	山田太郎
八景カードサービス株式会社	管理部	厚地 昭	東日本営業部	山田太郎
有限会社相原	システム部	芦沢 淳	東日本営業部	山田太郎
葉山建設株式会社	監査部	赤星 玲子	東日本営業部	山田太郎

※ 表部品の中に作成された複写・参照部品は対象外となります。

# 補足：バージョンアップ比較

～V9.5以前の場合

虫眼鏡アイコンをクリック

→選択ダイアログ内で該当レコードを都度検索

1.トラブルに関して  
トラブル発生日 2026/05/07  
トラブル名 簡潔に記入してください。

区分(全般)\_旧

トラブル対応マスタ (V9.6テスト用) (67件)

大分類	中分類	小分類
インシデント検知	発生兆候の検知	アラートの受信
インシデント検知	発生兆候の検知	モニタリング閾値超過
インシデント検知	発生兆候の検知	ユーザー報告の受領
インシデント検知	初期評価と優先度付け	影響範囲の特定
インシデント検知	初期評価と優先度付け	優先度の決定
インシデント検知	初期評価と優先度付け	事象の再現性確認
インシデント検知	緊急対応の開始	暫定ワークアラウンドの実施
インシデント検知	緊急対応の開始	影響停止・切り分け手順
根本原因分析	データ収集	ログ解析
根本原因分析	データ収集	設定・構成の確認
根本原因分析	データ収集	変更履歴の確認
根本原因分析	原因特定	技術的要因の特定

2

閉じる

V9.6以降の場合

虫眼鏡アイコンをクリック

→選択ダイアログ内で絞り込まれた状態が表示

1.トラブルに関して  
トラブル発生日 2026/05/07  
トラブル名 簡潔に記入してください。

区分(大分類) インシデント検知 区分(中分類) 発生兆候の検知 区分(小分類)

トラブル対応マスタ (V9.6テスト用) (3件)

大分類	中分類
インシデント検知	発生兆候の検知
インシデント検知	初期評価と優先度付け
インシデント検知	緊急対応の開始

1.トラブルに関して  
トラブル発生日 2026/05/07  
トラブル名 簡潔に記入してください。

区分(大分類) インシデント検知 区分(中分類) 発生兆候の検知 区分(小分類)

トラブル対応マスタ (V9.6テスト用) (3件)

中分類	小分類
発生兆候の検知	アラートの受信
発生兆候の検知	モニタリング閾値超過
発生兆候の検知	ユーザー報告の受領

## ～補足～

「連動プルダウン」や「多段階ドロップダウン」  
に近い運用は可能ですが、  
プルダウン部品の連動ではございません 🙇  
注意点や回避策をご案内させていただきます。

# 誤選択や誤入力の回避策

## 注意点

あくまでも初期値のため、  
選択ダイアログの**絞り込み条件が解除**できてしまう

1.トラブルに関して  
トラブル発生日 2026/05/07  
トラブル名 簡潔に記入してください。

区分(大分類) インシデント検知 区分(中分類) 発生兆候の検知 区分(小分類) アラートの受信

トラブル対応マスタ (V9.6テスト用) (3件)

新規追加

インシデント検知、0 キーワードで検索

大分類	中分類
インシデント検知	発生兆候の検知
インシデント検知	初期評価と優先度付け
インシデント検知	緊急対応の開始

## 回避策

マスタ側のデータと一致するか判定する

自動計算部品

- 文字結合によりキー部品を作成  
(マスタ側にも作成)

参照データ一覧

- 一致する条件はキー部品とする

自動計算部品

- 参照データ一覧に表示された件数をカウント

入力チェック

- 0件の場合はエラーとする

# 複数レコード表示の回避策

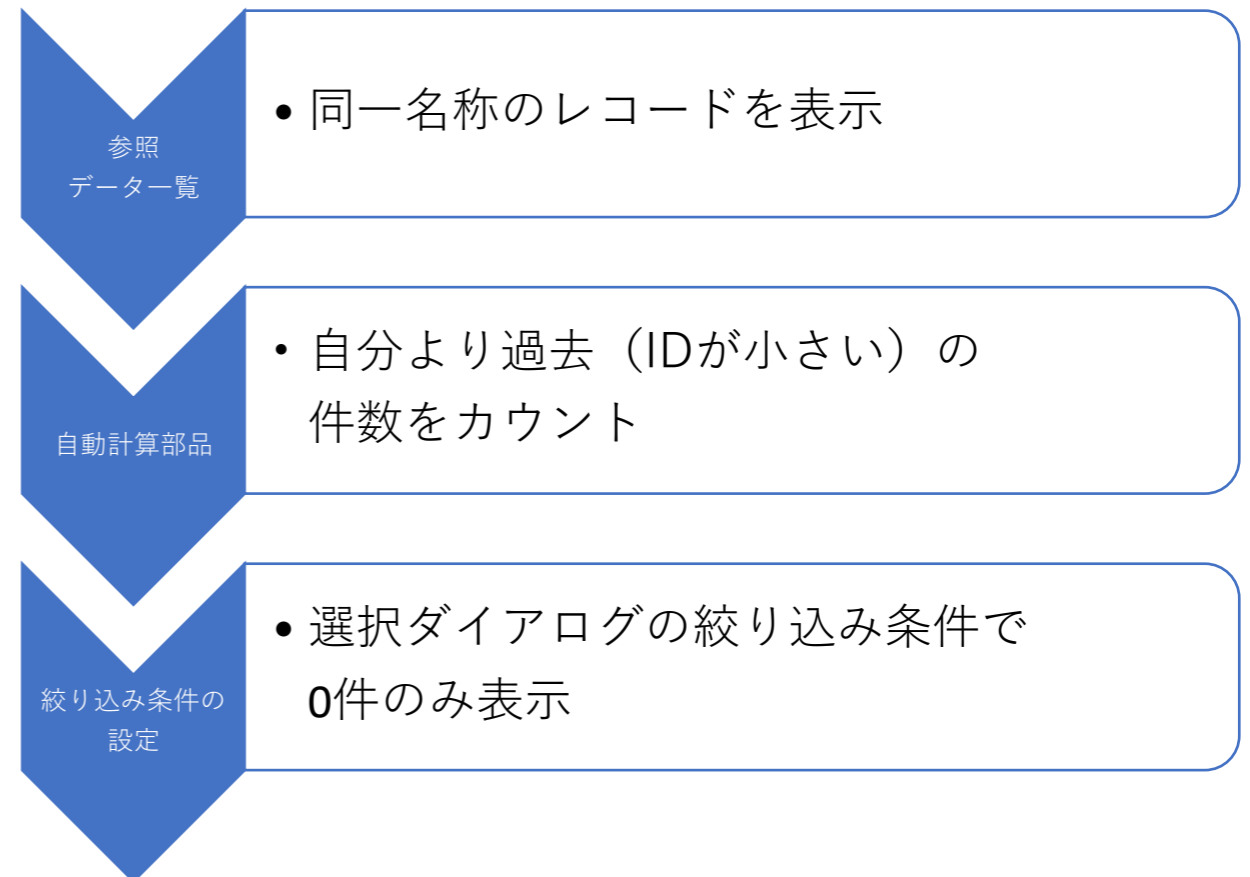
## 注意点

マスタ参照のため、  
左記のように複数レコード表示されます



## 回避策

重複した名称は最初や最新のみ表示させる



# 誤選択や誤入力回避策（詳細手順）



# 回避策の例：ステップ2

参照データ一覧を使い、マスタアプリを参照し、**関連データを見つける条件**では、[ステップ1]で作成した**キー部品**を選択します。

キー部品  
サンプルテキスト

マスタチェック用

	大分類	中分類	小分類
📄	サンプルテキスト	サンプルテキスト	サンプルテキスト
📄	サンプルテキスト	サンプルテキスト	サンプルテキスト
📄	サンプルテキスト	サンプルテキスト	サンプルテキスト

部品の設定

- 基本
  - 部品名  
マスタチェック用
  - タイプ  
参照データ一覧
  - 一覧の詳細
  - 編集
- ユーザー補助
  - (なし)
  - 配置
  - タイトル

参照データ一覧の詳細設定

関連するデータの一覧を表示する設定です。

参照先アプリケーション(\*)  
トラブル対応マスタ (V9.6テスト用)

関連データを見つける条件(\*)

参照先アプリケーションの部品：  
このアプリケーションの部品：

※ 上記の値が一致したデータの一覧を表示します。

表示する部品 選択 (\*)

大分類	×
中分類	×
小分類	×

データの並び順

データID ▼ 昇順 降順

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)

(条件を追加) ▼

※ すべての条件に合致するデータに絞り込みます。

# 回避策の例：ステップ3

参照データ一覧に表示された件数をカウントし、  
さらに、1件以上レコードがある場合→OK 1件もレコードがない場合→NGと判定します。

自動計算

データID  
登録日時  
登録者  
更新日時  
更新者  
申請システムID  
申請組織  
申請者  
申請日時  
決裁状況  
表題  
重要度  
経路ユーザー  
押印情報.タイトル  
押印情報.押印者  
押印情報.押印日  
押印情報.印字  
下書き申請システムID  
トラブル発生日  
区分(大分類)

エラーチェック  
サンプルテキスト

部品の設定

基本

部品名  
エラーチェック

タイプ  
自動計算

計算式  
編集

計算結果の表示形式  
文字

ユーザー補助  
(なし)

配置  
タイトル  
スタイル  
複写の設定

自動計算

```
IF(  
COUNT({マスタチェック用},{大分類})=1,"OK","NG"  
)
```

※ 文字として扱われる部品のタイプは、「文字(一行)」、「ラジオボタン」、「プルダウン」、「ユーザー(登録者または更新者)」、「ユーザー選択」の五種類です。

※ 複数選択として扱われる部品のタイプは「チェックボックス」、「リストボックス」の二種類です。

※ 日付、時刻、日時は、それぞれ以下の数値と同様の扱いとなります。

- ・日付：1970年1月1日からの経過日数を秒に変換した数値
- ・時刻：0時0分0秒からの経過秒数
- ・日時：協定世界時の1970年1月1日0時0分0秒からの経過秒数

緑：文字 青：数値 橙色：任意の型 水色：日付、時刻または日時 黄緑：複数選択 紫：数値の集合 桃色：任意の型の集合 下線付き：値の参照

OK キャンセル

# 回避策の例：ステップ4

入力チェックを使いエラーメッセージを表示させます。

AppSuite > トラブル対策報告書 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 削除

### 入力チェックの変更

状態

有効 無効

タイプ

エラー 確認

※ 「エラー」の場合、エラーメッセージを表示します。データは保存されません。  
※ 「確認」の場合、確認メッセージを表示し、データを保存するか選択させます。(詳細画面または一覧画面のセル編集でのみ動作します)

対象

トラブル対策報告書

メッセージを表示する条件(\*)

エラーチェック NG 詳細

(条件を追加)

メッセージ(\*)

正しい情報を選択してください。

メッセージの表示位置

(指定しない)

※ (\*)は必須項目です。  
※ 申請書アプリケーションの申請で下書き保存をした場合、入力チェックは行われません

変更 | キャンセル | 削除

OKの場合

区分(大分類) インシデント検知

区分(中分類) 発生兆候の検知

区分(小分類) アラートの受信

キー部品  
インシデント検知発生兆候の検知アラートの受信

マスタチェック用

大分類	中分類	小分類
インシデント検知	発生兆候の検知	アラートの受信

エラーチェック  
OK

NGの場合

区分(大分類) インシデント検知

区分(中分類) 発生兆候の検知

区分(小分類) 影響範囲の特定

キー部品  
インシデント検知発生兆候の検知影響範囲の特定

マスタチェック用  
(該当するデータはありません)

警告

正しい情報を選択してください。

エラーチェック  
NG

閉じる

# 複数レコード表示の回避策（詳細手順）

# 回避策の例：ステップ1

マスターアプリ側で参照データ一覧を配置し、同じアプリを参照させる。  
関連データを見つける条件を[中分類]とする。

The screenshot shows a software interface with a table and a configuration dialog. The table is titled 'トラブル対応マスタ' and has columns for 'データID', '大分類', '中分類', and '小分類'. The configuration dialog is titled '参照データ一覧の詳細設定' and has several sections: '参照先アプリケーション(\*)', '関連データを見つける条件(\*)', '表示する部品', 'データの並び順', and 'データの絞り込み'. The '関連データを見つける条件(\*)' section has two dropdown menus, both set to '中分類', which are highlighted with a red box. The '表示する部品' section has a '選択(\*)' button and a list of items: 'データID', '大分類', '中分類', and '小分類'. The 'データの並び順' section has a dropdown set to 'データID' and buttons for '昇順' and '降順'. The 'データの絞り込み' section has a dropdown set to '(条件を追加)'. The dialog also has 'OK' and 'キャンセル' buttons at the bottom.

データID	大分類	中分類	小分類
0	サンプルテキスト	サンプルテキスト	サンプルテキスト
0	サンプルテキスト	サンプルテキスト	サンプルテキスト
0	サンプルテキスト	サンプルテキスト	サンプルテキスト

参照データ一覧の詳細設定

関連するデータの一覧を表示する設定です。

参照先アプリケーション(\*)  
トラブル対応マスタ (v9.6テスト用)

関連データを見つける条件(\*)  
参照先アプリケーションの部品： 中分類  
このアプリケーションの部品： 中分類

※ 上記の値が一致したデータの一覧を表示します。

表示する部品 選択(\*)

- データID
- 大分類
- 中分類
- 小分類

データの並び順  
データID 昇順 降順

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)  
(条件を追加)

※ すべての条件に合致するデータに絞り込みます。

# 回避策の例：ステップ2

自動計算部品を使い、参照データ一覧に表示される件数をカウントする。  
CountIFを使い、自分より過去（IDが小さい）の件数をカウントする。

詳細画面

部品の設定

- 基本
  - 部品名
  - フラグ
- タイプ
- 自動計算
- 計算式
- 編集
- 計算結果の表示形式
  - 数値
  - 小数点桁数
- ユーザー補助
- 単位
  - 前 後
  - 桁区切り(,)を使用する
- 配置
- タイトル
- スタイル
- 複写の設定

自動計算

データID

登録日時

登録者

更新日時

更新者

大分類

中分類

小分類

トラブル対応マスタ.データID

トラブル対応マスタ.大分類

トラブル対応マスタ.中分類

トラブル対応マスタ.小分類

フラグ

キー部品

COUNTIF({{トラブル対応マスタ}},{{中分類}},  
{{トラブル対応マスタ}},{{データID}}<{{データID}})

※ 文字として扱われる部品のタイプは、「文字(一行)」、「ラジオボタン」、「プルダウン」、「ユーザー(登録者または更新者)」、「ユーザー選択」の五種類です。

※ 複数選択として扱われる部品のタイプは「チェックボックス」、「リストボックス」の二種類です。

※ 日付、時刻、日時は、それぞれ以下の数値と同様の扱いとなります。

- ・日付：1970年1月1日からの経過日数を秒に変換した数値
- ・時刻：0時0分0秒からの経過秒数
- ・日時：協定世界時の1970年1月1日0時0分0秒からの経過秒数

緑：文字 青：数値 橙色：任意の型 水色：日付、時刻または日時 黄緑：複数選択 紫：数値の集合 桃色：任意の型の集合 下線付き：値の参照

OK キャンセル

# 回避策の例：ステップ3

マスタアプリ側では以下のように最初に登録されたレコードに対して[0]と表示されます。

	大分類	中分類	小分類	フラグ
1	インシデント検知	発生兆候の検知	アラートの受信	0
2	インシデント検知	発生兆候の検知	モニタリング閾値超過	1
3	インシデント検知	発生兆候の検知	ユーザー報告の受領	2

該当アプリ側で、[0]と等しい絞り込み条件を適用します。

他のアプリケーションとの関係 (選択ダイアログの設定)

他のアプリケーションから関連データを選択するダイアログの設定です。

表示する部品(\*)

- 大分類
- 中分類

※ 選択ダイアログに表示する部品を選択します。複数選択できます。

データの既定の並び順

データID

※ 選択ダイアログに表示するデータの並び順を設定します。

データの既定の絞り込み (以下のすべての条件を満たす)

- 大分類 含む  \*区分(大分類)
- フラグ (=)等しい 0

(条件を追加)

※ 選択ダイアログに表示するデータの絞り込み条件を設定します。

# V9.6 AppSuite その他改善内容

# 自動計算部品の計算式で「データID」を使用できるように

サンプラー画面					
	会社名	部署名	氏名	メールアドレス	重複有無
1	株式会社ネオネオ商事	営業部	山田太郎	neo@desknets.com	重複あり
2	株式会社ネオネオ商事	営業部	鈴木次郎	neo@desknets.com	重複あり
3	株式会社ネオネオ商事	営業部	根尾三郎	test@desknets.com	重複なし

## ～V9.5以前の場合

自分のレコードを除外するために、  
自動採番機能で発番した番号を準備する

自動計算

```
IFS(
  ISBLANK({{メールアドレス}}), "メールアドレスが入力されていません",
  COUNTIF({{重複チェック用一覧}}.{{メールアドレス}},
    {{重複チェック用一覧}}.{{顧客NO}} <> {{顧客NO}} >= 1, "重複あり",
    1, "重複なし")
)
```

※ 重複チェック用一覧: 顧客NO

緑: 文字 青: 数値 橙色: 任意の型 水色: 日付、時刻または日時 黄緑: 複数選択 紫: 数値の集合 桃色: 任意の型の集合 下線付き: 値の参照

## V9.6以降の場合

自分のレコードを除外するために、  
データIDを利用する

自動計算

```
IFS(
  ISBLANK({{メールアドレス}}), "メールアドレスが入力されていません",
  COUNTIF({{重複チェック用一覧}}.{{メールアドレス}},
    {{重複チェック用一覧}}.{{データID}} <> {{データID}} >= 1, "重複あり",
    1, "重複なし")
)
```

※ 文字として扱われる部品のタイプは、「文字(一行)」、「ラジオボタン」、「プルダウン」、「ユーザー(登録者または更新者)」、「ユーザー選択」の五種類です。

※ 複数選択として扱われる部品のタイプは「チェックボックス」、「リストボックス」の二種類です。

※ 日付、時刻、日時は、それぞれ以下の数値と同様の扱いとなります。

- 日付: 1970年1月1日からの経過日数を秒に変換した数値
- 時刻: 0時0分0秒からの経過秒数
- 日時: 協定世界時の1970年1月1日0時0分0秒からの経過秒数

緑: 文字 青: 数値 橙色: 任意の型 水色: 日付、時刻または日時 黄緑: 複数選択 紫: 数値の集合 桃色: 任意の型の集合 下線付き: 値の参照

# 集計および各グラフの行・列・集計値に追加できる項目数を追加

集計および各グラフの行・列・集計値に追加できる項目数の上限を緩和し、より複雑なクロス集計・グラフを作成できるようになりました。

集計・グラフ		V9.5 → V9.6
クロス集計	行	4個まで → <b>6個まで</b>
	列	4個まで → <b>6個まで</b>
	集計値	3個まで → <b>6個まで</b>
円グラフ	軸	2個まで → <b>3個まで</b>
	集計値	1個まで (変更なし)
その他グラフ ※ゲージグラフ・カードを除く	軸	2個まで → <b>3個まで</b>
	凡例	2個まで → <b>3個まで</b>
	集計値	3個まで → <b>6個まで</b>

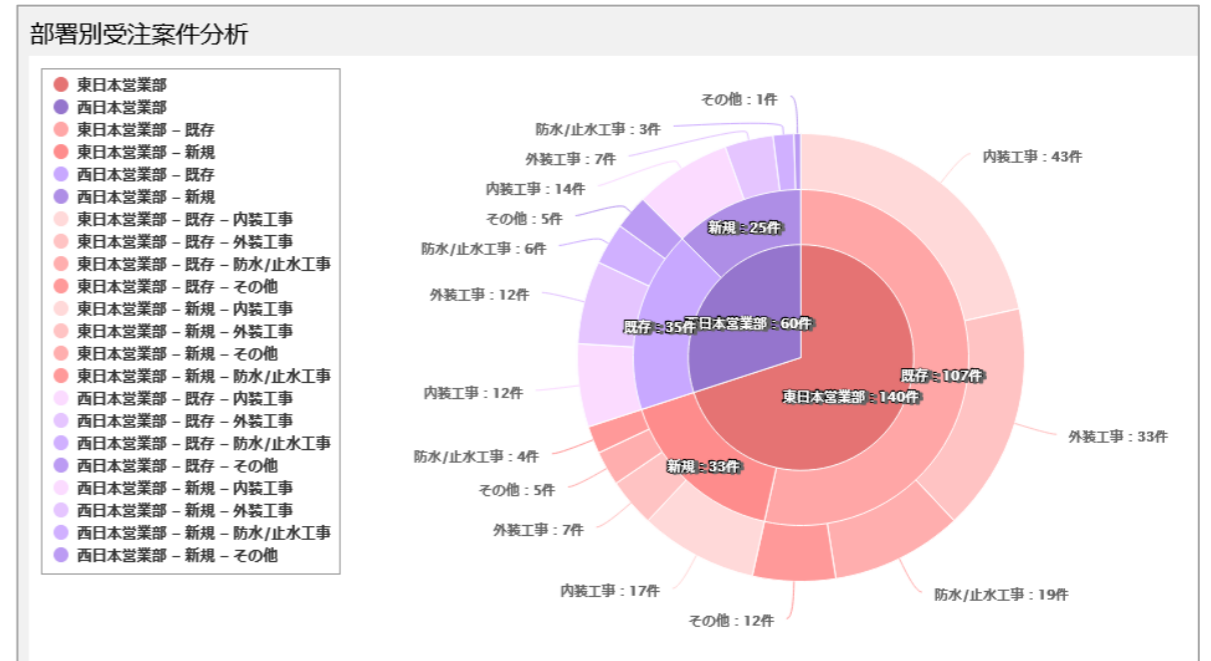
# 集計および各グラフの行・列・集計値に追加できる項目数を追加

集計および各グラフの行・列・集計値に追加できる項目数の上限を緩和し、より複雑なクロス集計・グラフを作成できるようになりました。

クロス集計：行6個、列6個、集計値：6個まで集計可能に

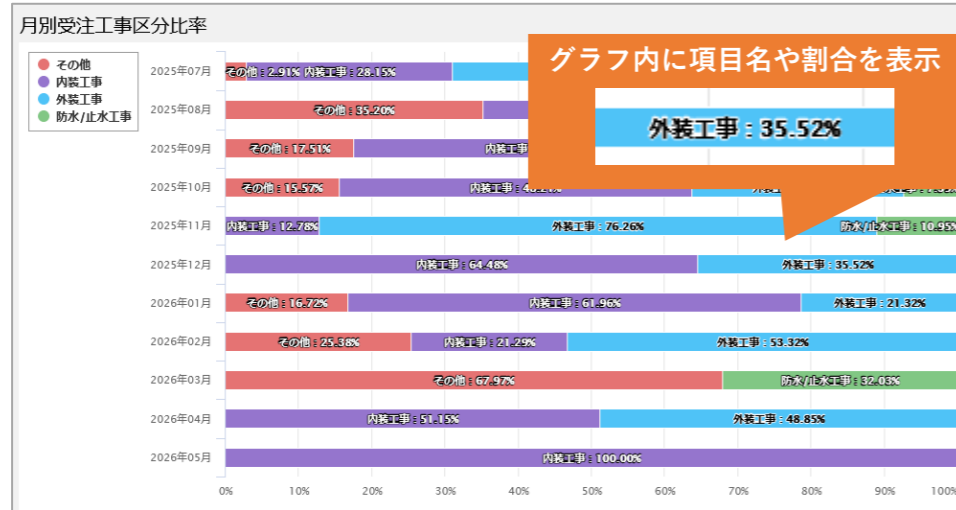
The screenshot shows the 'desknet NEO' interface. The main window displays a table of project data with columns for '受注予定日' (Order Date), '都道府県' (Prefecture), '顧客区分' (Customer Type), '顧客名' (Customer Name), '工事区分' (Work Type), '案件名' (Case Name), 'データの個数 / 案件名' (Data Count / Case Name), '合計 / 金額' (Total / Amount), and '集計値' (Aggregation Value). A configuration window is open, allowing users to select rows, columns, and aggregation values for the cross-tabulation. The window includes checkboxes for '登録者' (Registered User), '更新日時' (Update Date), '更新者' (Updater), '案件発生日' (Case Occurrence Date), '顧客名' (Customer Name), '案件名' (Case Name), '担当者' (Staff), '営業担当' (Sales Staff), '受注予定日' (Order Date), '都道府県' (Prefecture), '顧客区分' (Customer Type), '顧客名' (Customer Name), and '工事区分' (Work Type).

円グラフ：3軸まで集計可能に

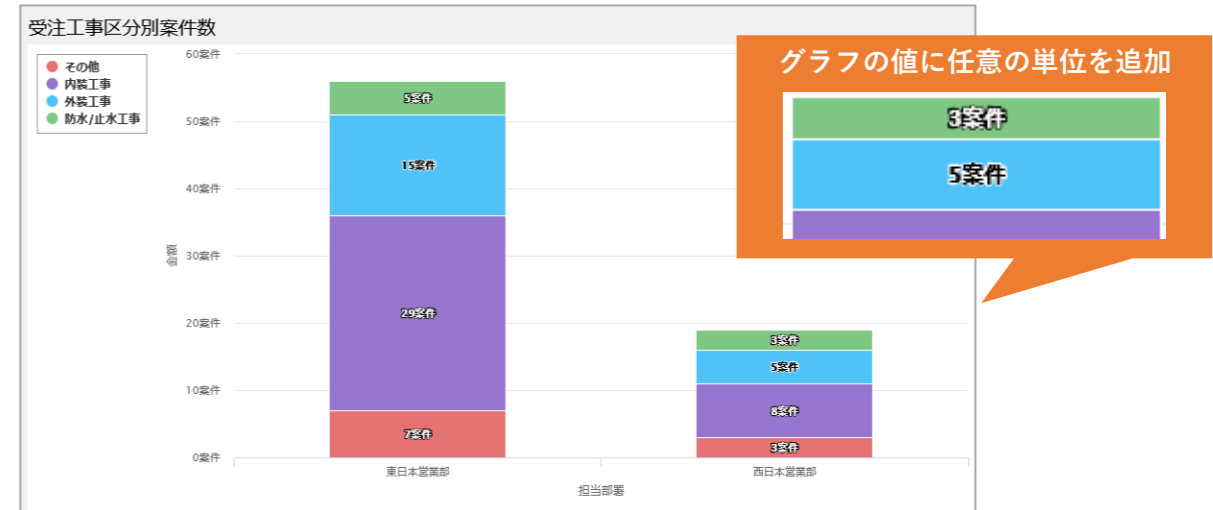


# グラフのデザイン追加

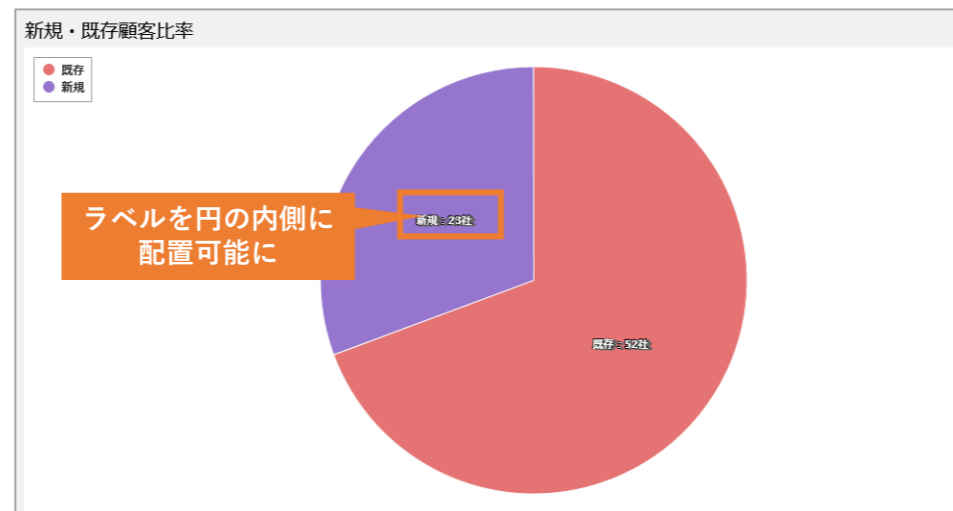
## 100%系グラフに表示する値を拡張



## 集計グラフの値に任意の単位を追加



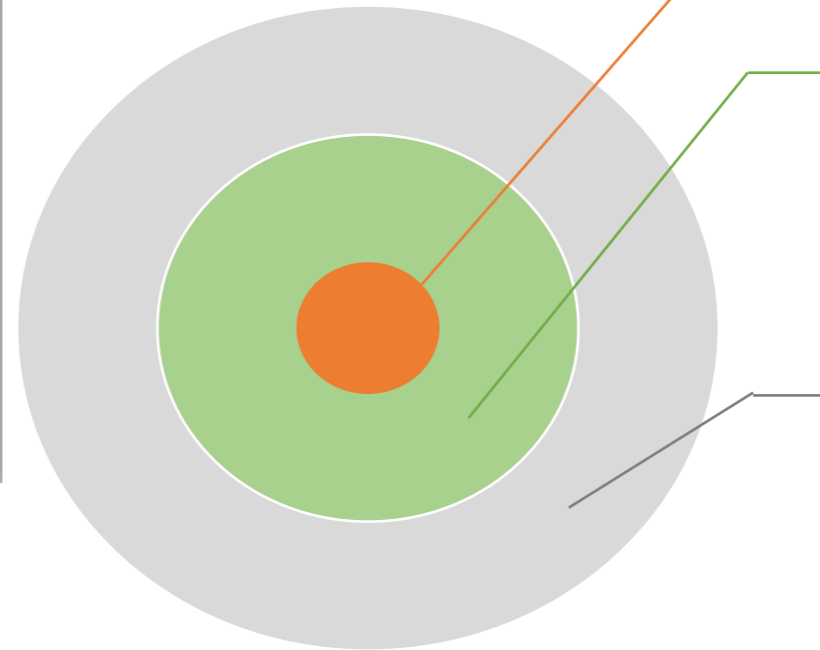
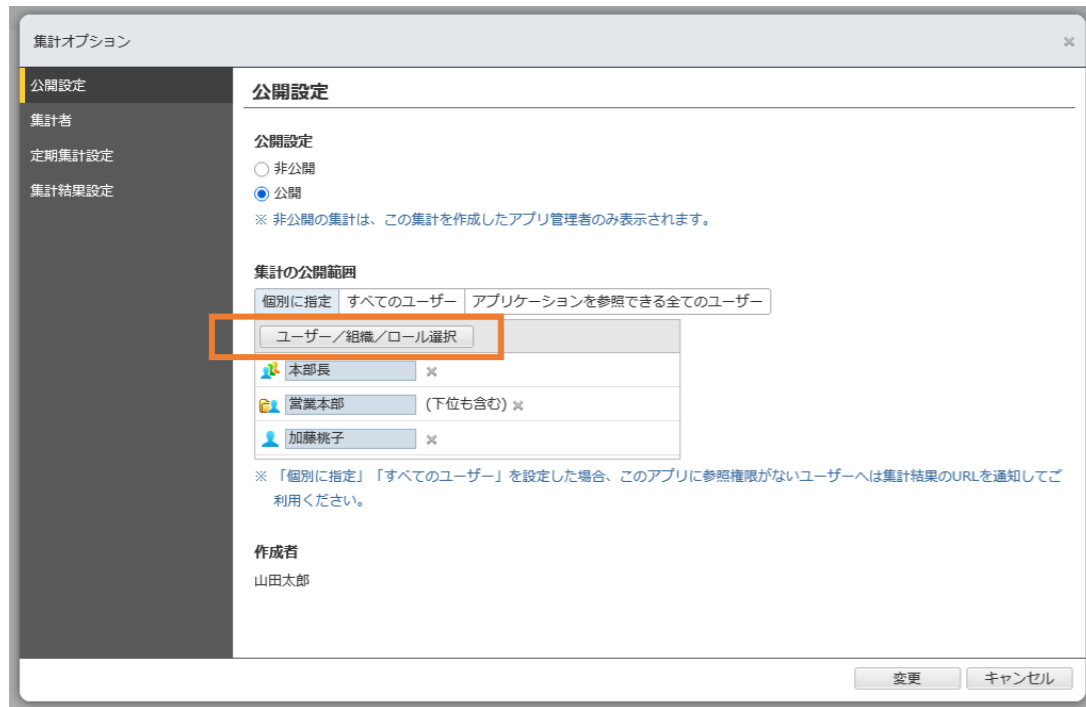
## 円グラフのラベルを円の内側に表示



# 集計の公開範囲を柔軟に設定

集計の公開範囲に「個別に指定」を追加しました。

集計を作成した後、集計管理画面から任意のユーザー・組織・ロールを組み合わせることで公開範囲を設定できます。



① AppSuite  
ライセンス適用○  
アプリ参照権限○

② AppSuite  
ライセンス適用○  
アプリ参照権限×  
↳ URL共有やポータルで  
グラフ参照

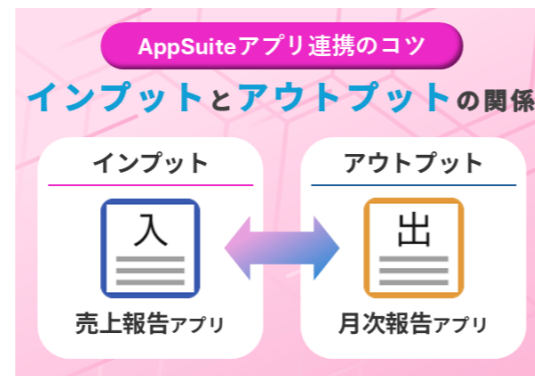
③ AppSuite  
ライセンス適用×  
↳ 閲覧/共有不可

# 例えばこんな

集計機能で対比（前年比／目標比）を表現できますか？

	集計機能	集計用のアプリ
合計	○	○
平均	○	○
対比	—	○
差分	—	○

インプットアプリ	アウトプットアプリ	アウトプットアプリ側で表示する内容（一部）
日報提出	月報提出	月次の就業時間や残業時間など
受注伝票	月次請求伝票	当月の請求金額など
案件管理	目標管理	目標比、月次達成率など
売上報告	月次報告	前年比、累積実績など



■必要な部品（例）  
 日付部品: 集計基準日  
 参照データ一覧: 売上報告参照  
 自動計算部品: 集計対象キー部品

■集計対象キー部品の計算式  
 DATE\_FORMAT({{集計基準日}}, "yyyy-MM")  
 ↳計算結果の表示形式「文字」に設定

■参照データ一覧の設定  
 参照先アプリケーション: 売上報告  
 関連データを見つける条件  
 ↳参照先アプリケーションの部品: 集計対象キー部品  
 ↳このアプリケーションの部品: 集計対象キー部品

参照データ一覧の詳細設定

関連するデータの一覧を表示する設定です。

参照先アプリケーション(\*)  
 1. 売上報告 (インプットアプリ)

関連データを見つける条件(\*)  
 参照先アプリケーションの部品: 集計対象キー部品  
 このアプリケーションの部品: 集計対象キー部品  
 ※上記の値が一致したデータの一覧を表示します。

表示する部品 選択 (\*)

売上日	×
商品名	×
数量	×
単価	×
売上金額	×

# ご案内およびQ&A

## ご案内（パッケージ版）

---

### [各バージョンの製品サポート終了日]

V5.5以前：※製品サポート終了

V6.0 (2020年12月リリース)：2026年09月30日 まで

V6.1 (2021年09月リリース)：2027年03月31日 まで

V7.0 (2022年03月リリース)：2027年09月30日 まで

V7.1 (2022年09月リリース)：2028年03月31日 まで

V7.5 (2023年03月リリース)：2028年09月30日 まで

V8.0 (2023年09月リリース)：2029年03月31日 まで

V8.5 (2024年03月リリース)：2029年09月30日 まで

V8.6 (2024年09月リリース)：2030年03月31日 まで

V9.0 (2025年03月リリース)：2030年09月30日 まで

V9.5 (2025年09月リリース)：2031年05月31日 まで

V9.6 (2026年05月リリース)：次期バージョンアップから5年間